吹き抜けや高い天井により、明るく開放的な雰囲気の「学問と芸術のフロア」（４階）

「子どものフロア」（２階）では
絵本を楽しむ多くの親子の姿が
見られます

「こんなことを調べている」
「こんな本を探している」というご相談は、
３階レファレンスコーナーへ

三星元人市長の
今月の★3つ
THIS MONTH'S ★★★

読書にもってこいの季節到来。安城には「図書情報館」がある！

アンフォーレにある安城市図書情報館のものすごい実力をご存じですか？

令和６年度の個人への図書貸し出し冊数は、同規模自治体で全国１位となりました。これは２年連続５回目の快挙！また、人口１人当たりの貸し出し冊数も同様に１位で、こちらは３年連続６回目です。（注１）

これだけではありません。あの国立国会図書館のレファレンス（注２）協同データベース事業に貢献したとして、同館から12年連続で礼状をいただいています。同館への貢献度を測るポイントで見ると、政令市以外では全国３位、愛知県では１位です。

私は職員時代、旧更生病院跡地活用構想の段階から担当してきましたので、アンフォーレに対する思い入れは人一倍強いと自負しています。目指したのは、市民や地域の課題解決に寄与し、これまで図書館から縁遠かった人にも気軽に来てもらえる図書館です。

特筆したいのは、当時非常に注目されていた指定管理者導入を拒否し、市直営でやっていきたいと訴えた図書館職員たちの情熱です。この熱きライブラリアンたちによって安城市図書情報館は運営されているのです。現在の図書情報館、皆さんはどのように評価していただけるでしょうか。

市長に就任して以降、読書時間がめっきり減ってしまいましたが、これを言い訳にせず、読書を楽しみたいですね。ちなみに私の読書遍歴は、小学生のファーブル昆虫記に始まり、若い時代はSF小説、大人になってからは歴史ものです。もちろん、『白鳥とコウモリ』も読みましたよ。

注１）　人口15万人以上20万人未満の自治体
注２）　図書館職員が図書館にある資料を使い、利用者の調べものや、資料・情報探しのお手伝いをするサービス

三河安城駅や篠目町が
登場する
『白鳥とコウモリ』
（東野圭吾／著　幻冬舎）